



和算家 関 孝和

前田 慧一朗

和算

- 日本独自に発達した数学
- 江戸時代に大きく発達
- 問題や解法が**算額**として奉納されている



- 関孝和以降円理（解析学）が大いに発達

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%92%8C%E7%AE%97>

大きな出来事

年	出来事
1635~ 1643 (諸説あり)	群馬県藤岡市or江戸で生まれる
1674	発微算法を著す
1681頃	円周率の近似値を算出する
1708	病に倒れ死去

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%96%A2%E5%AD%9D%E5%92%8C>

円周率

$$\bullet t_{15} = \frac{(s_{16}-s_{15})(s_{17}-s_{16})}{(s_{16}-s_{15})-(s_{17}-s_{16})}$$

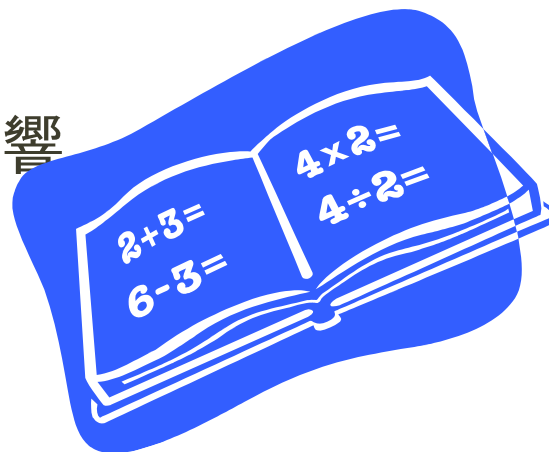
s_{15}, s_{16}, s_{17} = 直径 1 の円に内接する正
 $2^{15}, 2^{16}, 2^{17}$ 角形の周の長さ

- 現在ではエイトケンの Δ^2 加速法と呼ばれる
- 近似値3.14159265359微弱を採用
- いかに導いたかは不明

http://mathsoc.jp/publication/tushin/0104/sato_u1-4.pdf

まとめ

- 日本の数学の発展に大きく影響
- 和算の圧倒的な中心勢力
- 算聖としてあがめられる
- 史上最高の英雄的人物



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%96%A2%E5%AD%9D%E5%92%8C>